

学生の意見・要望及び学生の生活実態の聴取・調査について

1. 学生の意見・要望や、学生の生活実態に関する聴取・調査について

(1) 聴取・調査の内容・実施方法・実施頻度について

8～9割の大学等で、学生の意見・要望や、学生の生活実態に関する聴取・調査を行っていることが分かった。聴取や調査を「行っている」と答えた大学等のうち、具体的な内容に対する実施率については以下のとおりである(表1)。

なお、「その他」の聴取内容としては、通学(手段、時間)、住まい、経済状況(学費、奨学金、授業料減免、アルバイト)、心身の健康(悩み・不安、食生活、喫煙)、人間関係・ハラスメント、進路・就職、学習状況、ボランティア活動など、学生自身に関することが多く挙げられた。また、入学時の志望動機や、入学時に大学へ期待したこと(あるいは現在期待すること)などを調査・聴取している大学等もあった。

具体的な聴取・調査の方法と、その実施率については次ページの通りである(表2)。「その他」の聴取・調査方法として、ウェブを利用したコミュニケーションシステムを利用しているとの回答があった。

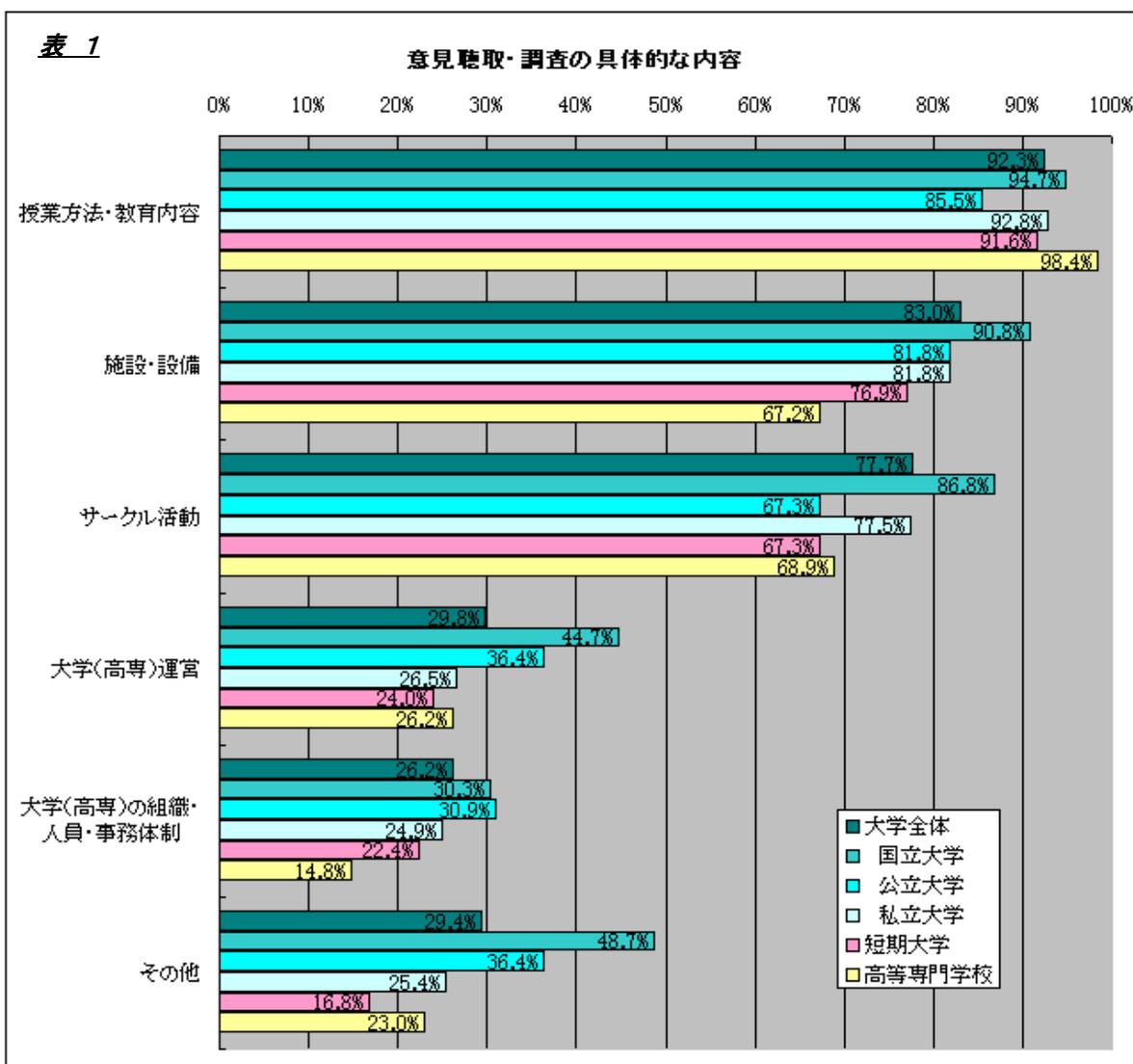
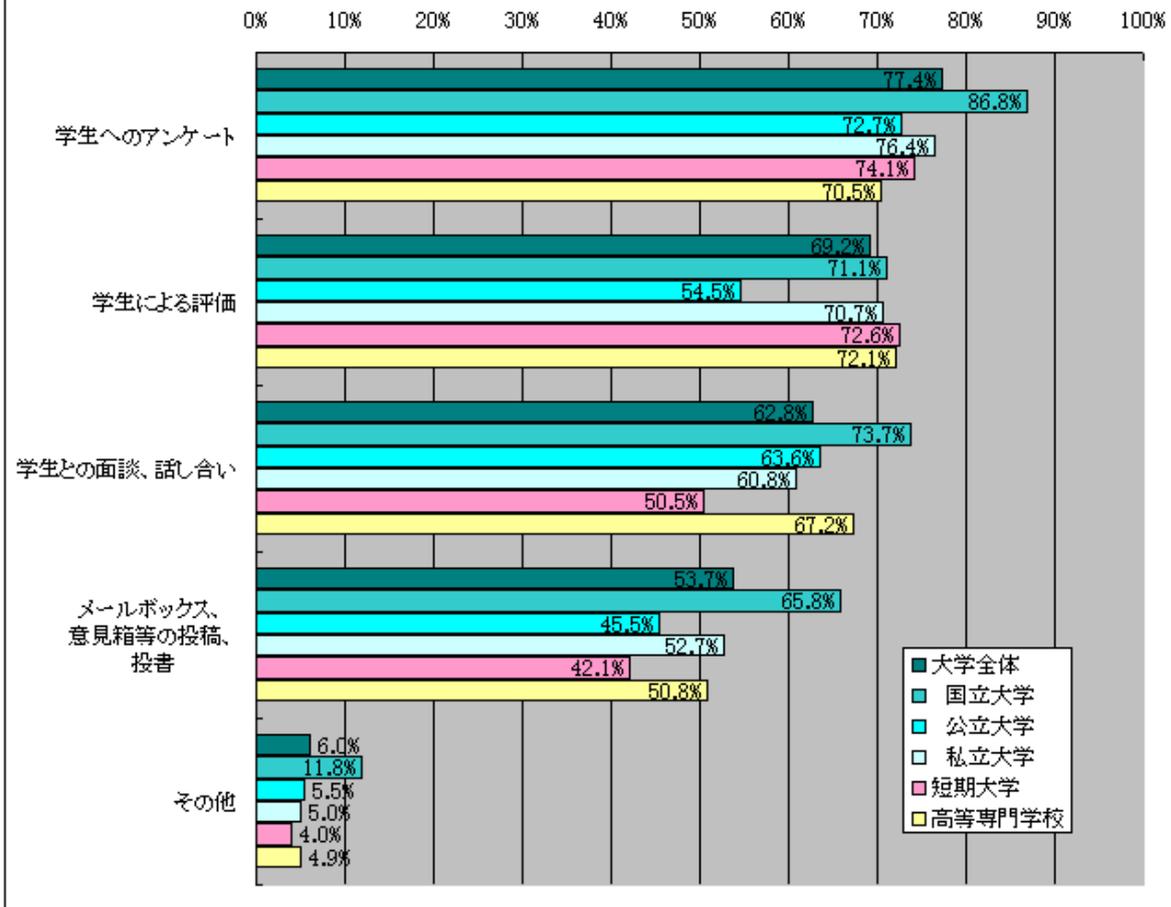


表 2

具体的な聴取・調査方法の実施率



「学生との面談、話し合い」を「行っている」と回答した大学等に対し、その詳細について尋ねたところ、「学生団体代表者との意見交換会」が圧倒的に多く、その他の方法の実施率はそれぞれ2～3割程度であった(表3, 4, 5, 6)。ただし、年に4回以上何らかの形で面談や話し合いを持っている大学等も全体の1割程度あった。

なお、その他の「学生との面談、話し合い」の方法として、希望する学生と学長等との面談、親睦会・交流会形式(ランチョンタイム、ティーアワー)、授業クラス・ゼミ単位での面談・面接などが挙げられた。

表 3

学生団体の代表者と学校側代表者との意見交換会

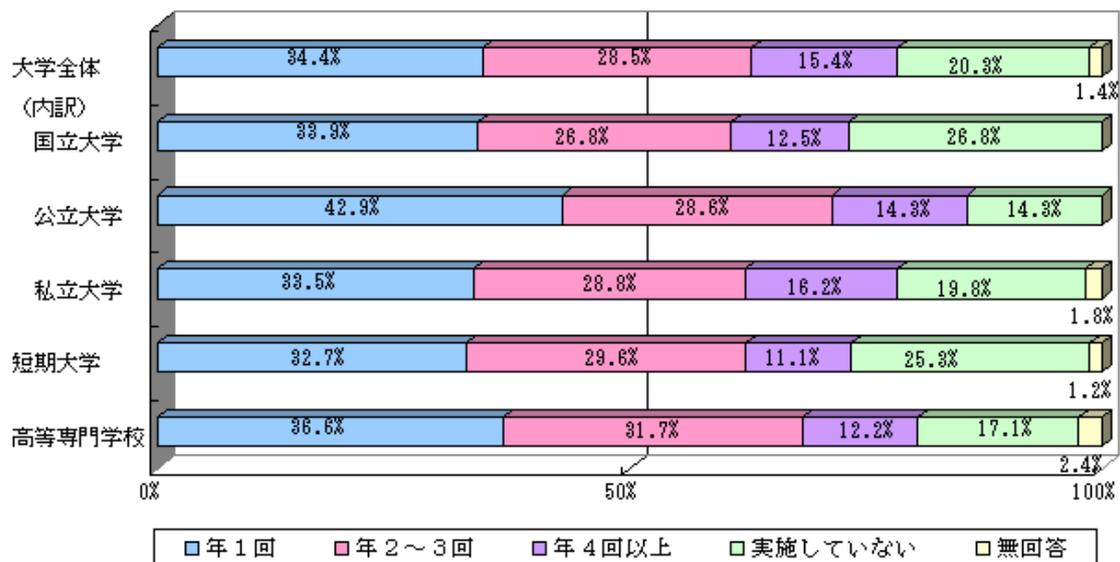


表 4

学生団体に対する大学側の個別面接

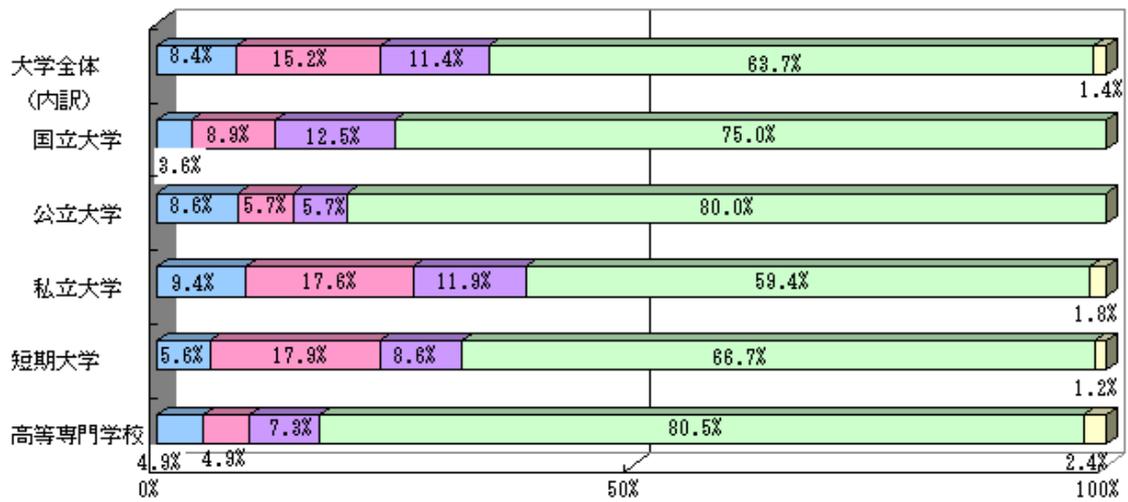


表 5

学生の中から選出したモニターと学校側代表者との意見交換会

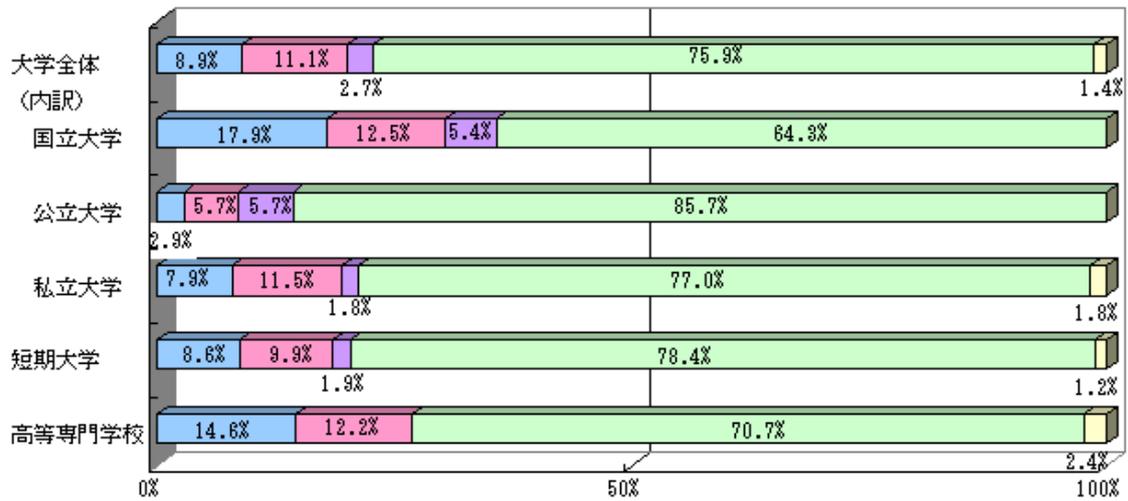
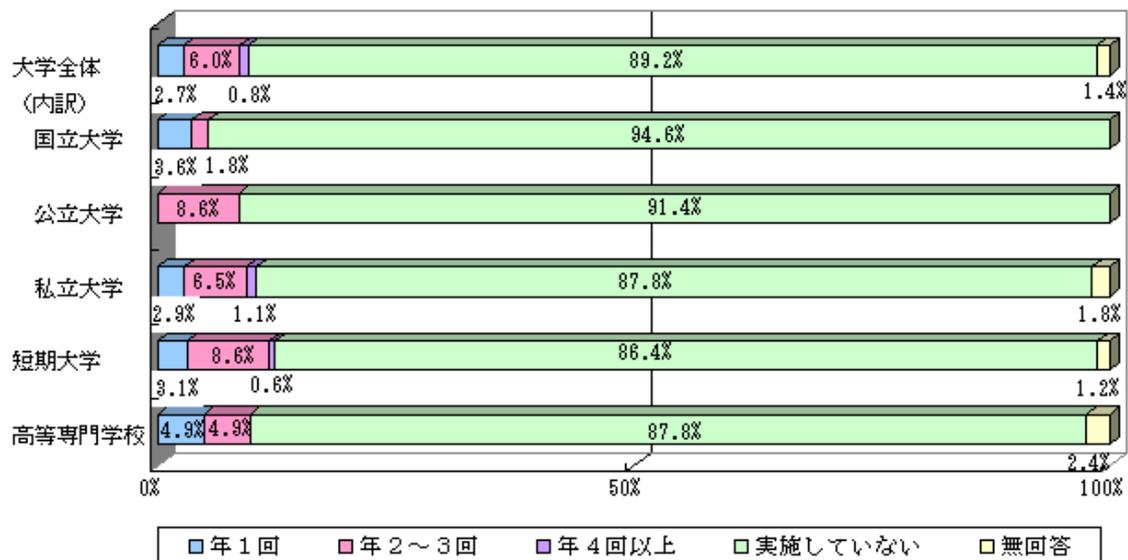


表 6

学生の中から選出したモニターに対する大学側の個別面接



■ 年1回 ■ 年2~3回 ■ 年4回以上 ■ 実施していない ■ 無回答

(2) 学生意見の聴取・調査を踏まえた改善事例について

学生の意見・要望や、学生の生活実態に関する聴取・調査を踏まえ、大学等が改善を行った事例は以下のとおりである(校名記載のないものは複数回答分)。

留学生	相談窓口の設置、日本語学習システムの導入(留学生係)(奈良女子大学)		
生障 害学	障害のある学生からの意見聴取は定期的を実施しており、その場ではいろいろな意見が呈示されるが、その多くは(80%以上)改善処置を施した。(点字翻訳機能の改善、学内移動経路における条件改善、トイレの便利さの向上、スクールバスのダイヤ・乗降要領の改善等)(桜美林大学)		
施設・設備・職員配置	学生相談室の設置(和洋女子大学)	何でも相談室の設置(小樽商科大学、名古屋工業大学)	憩いの場(ラウンジ、談話室)の設置
	学生相談室女性相談員の増員(米子工業高等専門学校)	保健室非常勤職員配置(清泉女学院大学、清泉女学院短期大学)	学生の相談体制を充実させるためカウンセラーの常勤配置や女性相談・法律相談など機能別相談窓口を設置(静岡県立大学)
	就職情報室・就職相談室の開設(大阪大学)	インターンシップオフィスの新設・・・調査結果(「インターンシップに対する学生の関心の高さ」、「情報提供に対する不満」)を受け、キャリアセンター内に専用窓口としてインターンシップ・オフィスを設置し、情報提供やサービスの一本化による全学的なインターンシップ支援体制の充実・強化を図った。(早稲田大学)	
	教室の修繕	サークル棟の改修	トイレの改修
	ロッカーの設置	駐輪場の増設	外灯の設置
	売店の設置	キャッシュディスプレイの設置	各施設の時間延長、休日の開放
	空調の整備	図書館の蔵書の充実	AV機器の充実
	スクールバスの増発	食堂の改善(メニュー変更、値下げ)	構内のバリアフリー化
マナー	喫煙マナーの啓発、喫煙エリアの設定	駐車マナー指導強化	ゴミの分別
イベント	大学祭の改善、資金的援助、活発化	夜間主体育祭の開催(電気通信大学)	
	自動二輪車の安全啓発のため、交通安全講習会を開催(年2~3回)し、交通事故のビデオ鑑賞と警察官の話を聞くことで、バイク死亡事故がなくなった。(東京工芸大学)		
履修講義 内義 登容・ 録・教	カリキュラムの改善	単位取得制限の緩和	クラス分け方法の改善(少人数クラスの実現、語学クラス分け基準の改善)
	シラバスの改善	講義登録方法の改善	
事学 務生 関係	学生系・教務系窓口の時間延長 事務所カウンター対応の改善・・・調査結果(「カウンター対応に対する不満」)を受け、学部および関係箇所(業務改善、人事研修、要員配置、施設改善などに関わる部門)からなる「窓口サービス改善懇談会」を設置し、問題点を抽出し、改善に向けての具体的なアクションプランを策定し、実行した。(早稲田大学)		
I T 化	大学からの休講・連絡等をPC及び携帯電話を利用し、確認できるシステムとした。(北見工業大学)	モバイルキャンパスの導入(休講等のお知らせをメール配信)(実践女子大学)	携帯サイトで休講や呼び出し、連絡事項を確認できるようにした。(園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部)
	2005年度春学期学生モニターにアンケートを実施した際、学内における情報収集手段として、掲示板よりインターネットを利用した迅速な情報提供を求めている結果が出た。それを受けて、従来、「キャンパスライフエンジン」や「学生WEBサービス」など複数で展開されていたものを一つに集約する「学生ポータル(機能として個人宛での連絡、レポート提出等の講義連絡、掲示されているお知らせの確認、あるいは休講情報や補講情報などを取り込んでいるシステム)」を2006年2月より導入することとなった。(東海大学)		
	情報端末の充実・貸し出し、無線LANのアクセスポイント増加		
その他	学生証のカード化		
	パソコンから意見を投函できる電子意見箱を設置した。(大分大学)		
	学内独自の奨学金を設置		